

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 984 号	氏名	AUNG KYAW KYAW
学位審査委員		主 査	濱野 真二郎
		副 査	平山 謙二
		副 査	山本 太郎
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ミャンマーにおけるデング熱対策に資するデング熱流行の臨床症状の特徴、ウイルス血症の状況、デングウイルスの分子疫学情報を得ようとしたもので、研究目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ミャンマーの2地域において、2015年のデング熱流行期に臨床的にデング熱を疑われた332症例を対象とした。急性期血清を採血し、デングウイルス特異的IgG、IgMの測定、蚊培養細胞クローンC6/36細胞を用いたウイルス分離とBHK細胞を用いたウイルス感染価の定量、血清中ウイルスRNA遺伝子の定量、ならびにウイルス表面蛋白E遺伝子の増幅・塩基配列の決定から分子疫学解析を行うなど、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>2015年のデング熱流行では4型のデングウイルス全てが同時に流行しており、デング1型が最も優位であった。初感染例が多く、初感染において重症化している症例が多く認められた。しかしながら高いウイルス血症と重症化との相関は認められなかった。デング熱の重症化には2次感染説、強毒ウイルス株の感染など諸説が提唱されているが、いずれも十分ではなく、重症化のメカニズム解明が重要であることが示された。ウイルス血症の持続が観察され、その流行維持に果たす役割が示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文はデング熱流行の実態把握ならびにデング熱対策に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			